



大町市キャラクター
おおまびよん

／ お互いさまのまちづくり

第211号

令和3年4月1日

社協 おおまち



地域のつながり ～復興の灯 in おおまち～

※詳細は8ページをご覧ください

主な内容

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| ◆震災から学ぶ「大切なこと」…………… 2～3ページ | ◆一般会費・法人会費…………… 6ページ |
| ◆地域で災害に備える…………… 4ページ | ◆心配ごと相談日程…………… 7ページ |
| ◆お知らせ…………… 5ページ | ◆3・11復興の灯 in おおまち…………… 8ページ |

震災から学ぶ「大切なこと」

3月11日、未曾有の災害と言われる東日本大震災がおきて10年が過ぎました。東北の方たちは少しずつ復興への歩みを進めていますが、「今私たちにできることは何なのか」一緒に考えてみませんか。

インタビュー「東日本大震災よりみえた地域のつながり」

元持さん（長野県社会福祉協議会まちづくりボランティアセンター職員）は、岩手県大槌町のご出身。これまでの体験をZoomでインタビューさせていただきました。

もともち さちこ
元持 幸子さん プロフィール

東日本大震災時には、緊急救援医療チーム活動を出身の岩手県釜石市と大槌町にて行う。その後、自分の故郷で地域住民の力と笑顔を引き出し、まちづくりの仕組みを考える「特定非営利活動法人つどい」を立ち上げ、住民の集まる場のコーディネートや中間支援等を行う。また、震災復興に向け、大槌町NPOボランティア団体連絡協議会の会長として地域の方々と活動を行う。台風19号東日本豪雨災害の時、JVOADとして長野での震災活動をへて、現在長野県社協のまちづくりボランティアセンターで地域づくりに取り組む。



◆地震→津波→火災

岩手県大槌町は、人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルと言われる蓬莱島も浮かぶ、風光明媚なまちで、町の大半の人は海沿いの地域で生活していた。町庁舎にいた町長をはじめ、多くの職員も行方不明になり行政機能が麻痺してしまい、数日の間外部から孤立した。

大槌町の被害状況

人口1万2510人／死者803人／
行方不明者479人
津波の高さ10～22メートル／
全壊家屋3092棟／半壊家屋／625棟

◆地域の助けあい

震災直後から支え合いの活動が始まっていて、消防団や自治会、外からの応援が来るまで、小さな集落ごと避難所の運営や炊き出しを自分たちでしていた。

大槌町には2011～2018年で県内外から8千人を超えるボランティアが訪れ、復旧作業に関わった。2012年には「これからのまちづくりに向け、自分たちも力をつけていこう」と町内で活躍してきたボランティア団体が集まりボランティア団体連絡協議会を立ち上げた。

◆まちづくりに関わった灯籠のこと

「3・11の集い～灯火」は地域のつながりを絶やさないようにするため大槌町のまちづくりに大きな役割を果たしてきた。灯籠づくりは、たくさんの人に関わって参加してもらい、町の人たちに防災について話し合い、考えていただく大切な機会として継続している。

今まではペットボトルにろうそくを入れて、屋外で展示してきたが、今年は新型コロナウイルス感染症の対策で、室内展示となった。



たくさんの方が
キャンドルカバーを飾り付けた



◆10年経って思う皆さんに伝えたい「大切なこと」

「命を大切に」→日常の暮らしの豊かさや、やさしさの大切さを感じてほしい。

「いざという時の備えは、ふだんから」→ふだんできないことは、緊急時にはうまくできない。

世界で、全国で、「3・11復興の灯inおおまち」のように東北に気持ちを寄せ、忘れないでいてくれるだけでありがたい。毎年日本ではあちこちで災害が起きているが、他人事と思わず「自分たちのまちの防災」について考えることが地域にとって大切なことです。

あれから10年 ボランティアバス社協号

10年前の9月30日～10月3日、大町市、大町青年会議所との共催でボランティアバスが岩手県山田町（大槌町のとなり町）に支援に行きました。当時参加いただいたボランティアさんにお話を聞きました。

今溝 三千子さん（十日町）

きっかけ

娘（次女）と孫がボランティアバスに申し込むと聞いて一緒に行こうと思った。テレビで被災地を見ながら「ボランティアに行きたい」と思っていたがどうやれば行かれるかわからなかった。「思い」があっても動けない人はたくさんいたと思う。ボランティアのきっかけをもらった。

当時の記憶

行帰りのバスは夜行便で寝たり起きたりしながら、13時間して現地に着いた。高速から降りて2時間。山田町に着くまでの道はがれきや車が山積みになっていて大変な風景を見た。「今まで経験したことのないことが起きた」災害とはそういうものかと思った。バスで自衛隊が大きなものを片付けたところへ行っただが、土のう袋に拾ったものを詰めた。2日で2区画しか進まないのもどかしかった。人間の力の小ささを感じた。でも機械ではできない作業、役に立ったと思いたい。

大切なこと

その後、年1回位ずつでかけた。「サロンを開いて仮設住宅等の住民同士が交流をしている」ときいて大町のお茶菓子を届けた。

山田町商工会議所の青年部の会長から「毎年お盆にやっていた花火をやって住民を元気づけたい」という言葉を聞き、現場の人たちの立ち上がろうとする力の大きさを感じ心強かった。自分たちの思いと、この地震の重みが違うと感じた。

勝野 泰光さん（清水）

きっかけ

少しでも役に立ちたいと思ってボランティアバスに参加した。当時、そういった募集が少なかったので良いきっかけになった。

当時の記憶

岩手県山田町に行ったときは、がれきの片付けの作業をした記憶がある。一人でやったら大変だけど、みんなでやったからできた。

その後も、年1回位ずつ福島県、宮城県などに職場の仲間たちとバスツアーで被災地支援に参加した。仮設住宅できのこ鍋の炊き出しをしたこともあり、喜んでもらえて良かった。

大切なこと

- 被災地の災害ボランティアセンターに行く活動場所の紹介をしてくれた。ボラセンの役割は大きい。
- 長野でも台風19号災害も千曲川が氾濫し大変な災害だった。コロナで支援活動がしにくくなってしまったが、みんなの力でやるのが大事だと思う。
- これからの被災地支援は、東北の海の幸を買ったり、コロナが落ち着いたら旅行出かけて、自分たちも楽しみながら継続的に復興支援をすることが大切だと思う。大町市内で物産展が開かれれば行きたい。





災害サポーター養成講座

災害サポーターとは…

減災には、自分の身を守る「自助」、公的機関を行う「公助」、隣近所支え合う「共助」、3つの「助」が必要です。本講座で特に「共助」について学び、地域ぐるみでの防災の大切さを理解している人です。

災害サポーター養成講座について

対 象 自治会や自主防災会、その他市内で活動されている団体等ならどなたでも

開催日・会場 申込者が希望する日、場所で講師の日程を調整し決定します

開催時間 60分～ 90分

災害時住民支え合いマップ

平成17年度から市内**23自治会**で作成されています。

災害時も、日常の支え合いにも役立つ地域のマップづくりに、取り組んでみませんか。



H27年度泉地区マップ説明会の様子

災害用備品 ※見本あります



ジンリキ

車いすに取り付けて引っ張る道具です。(貸し出し可)



助人くん

二人乗り車いすにもリカーにも使えます。

【問い合わせ】大町市社会福祉協議会 TEL 22-1501

やってみよう！防災用品 ☑チェックリスト

貴重品

- ☐ 現金（小銭も）
 - ☐ 印鑑（認印）
 - ☐ 健康保険証、運転免許証のコピー
 - ☐ 母子手帳の出生＆予防接種のページのコピー
 - ☐ 貴重品リスト
- （権利証、旅券、預金通帳、保険証書等の番号をメモした紙）

初動対応

- ☐ 手袋（突き刺しに強い素材）
- ☐ ヘルメット（ヘッドライトをつける）
- ☐ マスク
- ☐ ゴーグル
- ☐ 安全靴
- ☐ 投げる消火剤
- ☐ トランシーバー
- ☐ 携帯ラジオ

衛生関係

- ☐ 災害用トイレ
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ 消臭剤
- ☐ 除菌剤
- ☐ 口腔ケア（歯ブラシ、液体歯磨き、歯磨きシート等）
- ☐ 下着・着替え
- ☐ ウェットタオル
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ 生理用品
- ☐ 基礎化粧品（女性）
- ☐ 携帯ウォシュレット
- ☐ タオル

食料

- ☐ 水（1人1日3 ）
- ☐ 缶詰やレトルト食品
- ☐ 栄養補助食品
- ☐ ドライフーズ
- ☐ 野菜ジュース缶
- ☐ インスタント食品
- ☐ 菓子類（せんべい、羊羹等）
- ☐ 離乳食（乳児）

応急医薬品

- ☐ 包帯
- ☐ 三角巾
- ☐ 滅菌ガーゼ
- ☐ 傷口パッド
- ☐ 止血パッド
- ☐ 消毒液
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 炎症薬

日用品

- ☐ ウォータータンク
- ☐ 携帯充電器
- ☐ ライター
- ☐ 新聞紙
- ☐ 大ビニール袋
- ☐ ブルーシート
- ☐ 寝袋
- ☐ アルミブランケット
- ☐ ランタン
- ☐ 個人に必要なもの
- ☐ ロープ
- ☐ ジャッキ
- ☐ スコップ
- ☐ バール
- ☐ 台車（カート）
- ☐ バケツ
- ☐ カセットコンロ
- ☐ ガスカセット
- ☐ 固形燃料
- ☐ ラップフィルム
- ☐ 油性ペン＆手帳
- ☐ ガムテープ
- ☐ 万能ばさみ
- ☐ レインスーツ（上下）
- ☐ 長靴

令和3年度ボランティア活動保険のご案内

もしものために…

社会福祉協議会の構成員、会員、ボランティアセンターに登録されているボランティアがご自身のケガや賠償責任補償のために加入できる保険です。ボランティアセンターの窓口で手続きができますので、ご相談ください。

天災・地震補償プラン

対 象：災害ボランティア活動に参加される方

保険料：年間500円

※基本プランでは、地震、噴火、津波が起因する死傷は補償されません。

基本プラン

対 象：「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で社会福祉協議会に届け出た個人・グループ

※ボランティア活動のための学習会や会議などを含みます。

保険料：年間350円(登録ボランティアは170円の補助があります)

令和3年度 成年後見無料相談会開催のお知らせ

「弁護士」「リーガルサポートながの」「ぱあとなあながの」のご協力をいただき、成年後見相談会を各市町村にて下記のとおり開催します。

認知症や精神障がい、知的障がいにより判断能力が低下してきている方の財産管理のこと、身寄りがいない方の将来の財産管理、相続、契約のことなど、この機会に相談してみませんか？

相談は無料です。それぞれの問い合わせ先を通してご予約ください。



◆日程と場所 時間はいずれも午後1時30分～午後3時30分

4月22日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室	10月28日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室
5月27日(木)	小谷村役場 2階会議室	11月25日(木)	池田町総合福祉センター 2階大会議室
6月24日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室	12月23日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室
7月15日(木)	白馬村ふれあいセンター 2階学習室	1月27日(木)	松川村保健センター 問診室
8月26日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室	2月24日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室
9月16日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室	3月24日(木)	大町市総合福祉センター 2階小会議室

◆問い合わせ

各市町村の地域包括支援センターまたは、北アルプス成年後見支援センターまでお願いします。

- 大町市地域包括支援センター ☎0261-22-0420
- 大町市北部地域包括支援センター ☎0261-85-0062
- 大町市南部地域包括支援センター ☎0261-21-1702
- 池田町地域包括支援センター ☎0261-61-5000
- 松川村地域包括支援センター ☎0261-62-3290
- 白馬村地域包括支援センター ☎0261-72-6667
- 小谷村地域包括支援センター ☎0261-82-3135
- 北アルプス後見支援センター ☎0261-22-1550



こんな心配はありませんか？

成年後見制度ってどんな時に利用するの？ 手続きはどうすればいいの？

後見人は何をしてくれる人なの？

頼れる身寄りがいないため、今後のことに不安があるけど…どうしたらいいのだろう？

知的障がいのある子どもの将来が心配だけど、どうしたらいいのだろう…？

お気軽にご相談ください

社協法人会員に ご協力ありがとうございます

本会では地域の法人や事業所の皆さまから地域の支え合い活動へのご支援をいただきたいという願いから、平成29年度より「法人会員」を新設し、募集を行っております。本年度は22事業所のご協力をいただきました。ご報告とともにお礼申し上げます（3/10現在）

法人会員にご協力いただいた皆さま（敬称略）

大北農業協同組合	大町市大町3091-1	有限会社 北福島	大町市大町2537
北安醸造 株式会社	大町市大町2340-1	カネマサ斎藤商店	大町市大町2591
日特工業 株式会社	大町市大町1861-1	ツカサ工業 株式会社	大町市社5511
株式会社 奥村印刷所	大町市大町2470	株式会社 信越	大町市大町1492-1
株式会社 井内工務店	大町市大町4802-6	株式会社 黒部電業舎	大町市大町5095-20
柿下クリニック	大町市常盤3541-14	有限会社 北辰印刷	大町市大町3871-1
株式会社 大八木建設	大町市大町5395-1	（資）横川商店	大町市大町4136
株式会社 伊藤金物商会	大町市大町1285-1	株式会社 俵屋	大町市大町3312
有限会社 五十嵐木材	大町市常盤6851-76	養老乃瀧 大町駅前店	大町市大町3173
有限会社 大町作業用品	大町市大町1290-4	明治安田生命保険相互会社 松本支社大町営業所	大町市大町3205-35
社会福祉法人 れんげ福祉会	大町市常盤6850-24	株式会社 今溝建材	大町市大町4742-32

法人会員にご協力いただきますと、社員の皆さんが行うボランティア活動に対して会社名で「ボランティア活動保険」に加入することができます。

また、法人会員様が実施する生活困窮者就労支援における「就労訓練事業」「就労準備支援事業」についても保険制度に申込むことが可能です。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 TEL22-1501

お寄せいただいた法人会費は、地域福祉活動・ボランティア活動の支援や推進に活用させていただきます。

法人会員は引き続き募集中です。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



小地域福祉ネットワーク交流会

法人会費（年額）

1口 5,000円（1口から加入いただけます。）

大町市社会福祉協議会の一般会費納入のお願い(令和3年度分)

会費

600円

(1世帯当たり)

会費は地域活動やボランティア活動などの財源として活用します。

- **納入方法** 自治会を通して納入いただくか、納入窓口までお持ちください。
- **期 間** 令和3年4月1日(木)～5月31日(月) ※土・日曜日、祝日は除く
- **受付窓口** 大町市・八坂・美麻総合福祉センター、平・常盤・社公民館
- **問い合わせ** 大町市社会福祉協議会 TEL22-1501

一人で悩むよりまず相談！
お気軽にご相談ください

社協の相談事業

事前予約にご協力ください ☎ 22-1501 (大町市)

心配ごと相談・司法書士相談

日々の暮らしの中の大小の悩み事について、解決の糸口を相談者とともに見い出していく相談窓口を開設しています。複数の相談員で相談に応じますので、お気軽にお電話ください。

大北地域心配ごと相談日程 4月・5月

期 日	時 間	内 容	担当者	会 場	問い合わせ
4月	4月12日(月)	13:00～16:00	心配ごと相談	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00～15:00	司法書士相談		
	4月26日(月)	13:00～16:00	心配ごと相談		
		13:00～15:00	司法書士相談		
	4月13日(火) 4月27日(火)	13:30～15:30	なんでも相談	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	4月7日(水)	13:00～15:00	生活全般 子育て・結婚相談	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
5月	5月10日(月)	13:00～16:00	心配ごと相談	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00～15:00	司法書士相談		
	5月24日(月)	13:00～16:00	心配ごと相談		
		13:00～15:00	司法書士相談		
	5月11日(火) 5月25日(火)	13:30～15:30	なんでも相談	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	5月12日(水)	13:00～15:00	生活全般 人権擁護 結婚相談	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	5月13日(木)	13:00～15:00	心配ごと相談	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230

食品の寄付にご協力ください

大町市社協では、生活に困窮している方の社会的自立を図るため、長野県・大町市生活就労支援センター(まいさぼ大町)において、相談・就労支援を行っています。その一環として一時的に食品を提供することにより、生活の一部を支えるとともに、困窮状態から脱却できるように支援を行っています。

現在、提供する食品が不足している状況のため、食品の寄付について下記によりご協力いただければ幸いです。細部については相談、調整の上、対応いたします。

食品の種類：缶詰、カップ麺、レトルト食品、非常食、白米等
いずれも消費、賞味期限が1か月以上あるもの

問い合わせ先 大町市社協 TEL22-1501まで

ふれあいの窓

敬称略

善意の寄附をありがとうございます

- 【現金】 シニア大学なでしこ会31期生…20,000円
匿名…2,000,000円、匿名…10,000円
大町公民館分室ふれあいの箱…1,308円
女性健康支援SANBAの会…200,000円
昭和電工株式会社大町事業所…50,000円
- 【物品】 匿名…米30kg、匿名…米54kg
匿名…米60kg
北安醸造株式会社…甘酒170本
大町商工会女性部…米、缶詰ほか964品
JA大北女性部…缶詰、インスタント食品ほか60品
- 【使用済み切手ほか】 市川尊典、匿名多数
1月16日～3月15日受け付け分

3・11復興の灯 in おおまち

3月11日、市民のみなさんと今できることに取り組みました。ささやかに、被災地への祈りと「これからの地域が安心安全であるように」「助け合える地域であるように」災害についての対話の機会となるよう「3・11復興の灯 in おおまち」を実施しました。

事前準備

■紙灯籠作り

サロン参加者や老人クラブ、デイサービスやケアハウスの利用者さん、児童クラブやスポーツチームの子どもたち、市内店舗の方、総合福祉センターご利用の方などたくさんの方に参加いただきました。

切りぬいたり、折り紙を張ったり、書いたりと個性的なオリジナル灯籠が約160枚あつまりました。ありがとうございました。

■展示準備

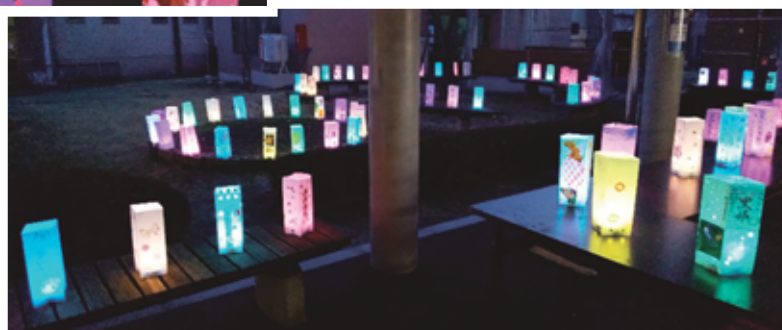
ボランティアのみなさんに展示の準備をご協力いただきました。



3・11当日

募金箱の設置や防災ガイドを配布しました。

見学していただき写真をとったものの中から、社協メールアドレスに写真を送っていただいています。すてきな写真の一部をご紹介します。



「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿など皆さんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumukikaku@omachishakyo.org